

3. 中期計画

3.1 第2期中期計画（平成29年度～34年度）における平成29年度計画と実績

3.1.1 平成29年度計画の概略（石川県公立大学法人 平成29年度計画 概要版より）

計画策定の基本的考え方

■平成29年度は第2期中期計画（6年間）の初年度であり、中期計画の3つの柱「大学教育機能の強化」「地域連携・地域貢献機能の強化」「ガバナンス機能の強化」に基づき、現行課題の抽出と対応の方向性および解決策の検討、改善に向けた具体的な実行計画の策定を行う。

重点取組項目	看護大学	
	内容	
I. 大学教育機能の強化 - 社会ニーズに応じた教育の提供 - 学生の学びの質向上	①社会ニーズに応じたカリキュラム改定	・医療現場の多様化・高度化に対応するため、医療機関等へのアンケート調査や臨床教授等との看護教育懇談会等を通して臨床現場の意見を収集し、学部教育の改善に向けたカリキュラムの改定を検討する。 ・大学院において、 <u>新たな高度実践看護師養成課程（質の高い助産師養成課程）</u> の設置に向けた準備を行うとともに、CNS（専門看護師）教育を充実させるための検討を行う。
	②体系的で組織的な教育の実施	・改定した3つのポリシー（※）に基づき、教養教育および専門教育等における科目間のつながりを明確化することで、学生の視点に立ってカリキュラムの体系化を図る。 （※）①卒業認定・学位授与、②教育課程の編成・実施、③入学者の受入れ方針
	③学生の能動的学修の推進	・学生の主体性、課題解決能力を高めるため、地域におけるボランティア活動や異学年交流等を促進するとともに、授業方法の見直し等を行うことでアクティブ・ラーニングの推進を図る。
II. 地域連携・地域貢献機能の強化	④産学官連携の推進	・地域ケア総合センターの機能を活かし、看護職者を対象とした事例検討会や医療機関への講師派遣等を行うことで看護の質向上を図る。また、かほく市・能登町等と連携した健康増進活動や地域住民を対象とした公開講座等を行うことで地域の健康・福祉の向上に努めるとともに、産学官連携の更なる強化に向けた調査・検討を行う。
	⑤学生の地元定着促進	・県内他大学とともに地方創生推進事業（COC+）を推進し、石川県の産業や文化等に関する映像教材を使った「地域指向型教育」を実施するとともに、地域における健康増進活動等を通して地域に対する学生の関心を高めることで、学生の地元定着に努める。
	⑥社会人教育の充実	・看護キャリア支援センターにおいて、現職看護職者のキャリア形成支援を行うため、認定看護管理者教育課程（サードレベル）に加え、新たに認知症看護認定看護師教育課程を開講する。
III. ガバナンス機能の強化	⑦ガバナンス体制の構築	・理事長および学長のリーダーシップの下で戦略的に大学をマネジメントできるガバナンス体制を構築し、大学改革を推進するとともに、大学に求められる社会的ニーズや学生にとっての魅力向上策を分析し、大学の将来を見据えた経営戦略および実行計画を策定する。
	⑧大学間連携の推進	・看護大学と県立大学の合同研究発表会の開催に加えて新たに情報共有の場を設置する等、研究交流の機会を増やすことにより共同研究実施に向けた環境の構築を図るとともに、両大学合同のFD（ファカルティ・ディベロップメント）研修を開催する等、教育交流を推進する。

3.1.2 平成29年度計画の実績の概略

(石川県公立大学法人 平成29年度業務実績報告書の概要より抜粋)

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育課程の充実

(1) 平成30年度 助産師養成課程開設

- ・カリキュラム改訂と文部科学省への設置認可申請
- ・必要人員の確保（教授1名、講師1名、助手1名）
- ・3つのポリシー（ディプロマ、カリキュラム、アドミッション）の改訂

(2) 臨床教授との意見交換会の実施

- ・臨床教授等との看護教育懇談会において、実習先での学生の状況、指導上の気がついた点などについて意見交換を行い、次年度の各領域での教育内容の改善を検討。

(3) 看護学教育モデル・コア・カリキュラムに沿った教育体制の見直し

- ・石川県医療行政担当者や看護のコア・カリキュラムに関する有識者の意見を踏まえ、カリキュラム及び教育組織を見直しの検討を進めた。
 - ①各科目の授業時間数を見直し
 - ②科目間の学修内容の重複などを点検し、整理・統合

2 教育実施体制の充実

(1) 学生による授業評価を活用した授業改善

- ・授業評価結果を教員全体会議で共有

(2) 施設・設備の充実

- ・Wi-Fi環境の拡充（演習室4箇所）
- ・学外からアクセスが可能なデータベース「メディカルオンライン」の導入

3 研究の推進

研究時間確保に向けた委員会組織の見直し

- ・委員会の整理統廃合や委員構成数の削減による業務負荷の軽減

4 地域貢献及び国際貢献の推進

(1) 地域人材の育成

- ・COC+の映像教材（奥能登の医療機関で働く卒業生）を授業等で活用
- ・大学祭で新人看護師が不足している過疎地域の病院等を紹介するブースを設置

(2) 地域貢献事業の推進

- ・大学コンソーシアム石川の「地域課題研究ゼミナール支援事業」への参加
→本学の学生による「老人クラブに入ると健康になれるプロジェクトー健康カフェによる高齢者の社会参加の促進ー」が優秀賞を獲得。
- ・県内市町との連携事業（モールウォーキング等）の開催
- ・地方自治体及び石川県看護協会の委員会委員・講師への就任
- ・県内病院における院内看護研究の指導を担当

(3) 国際交流事業の推進

- ・日中韓看護フォーラムの開催
- ・アメリカ看護研修及び韓国研修の実施

5 学生への支援

(1) 学生のコミュニケーション能力向上に関する取組み

- ・学生どうしの情報交換会「SOUDAN LABO」の開催（年4回）

(2) 卒業後のキャリア形成支援の充実

- ・ライフイベント（育児など）と看護職の両立に関する卒業生との交流会を開催
- ・同窓会と連携してホームページ、LINEを活用した就職情報提供体制を整備

項目別評価の状況



項目	IV	III	II	I	計
教育	1	23	0	0	24
研究	0	3	0	0	3
地域貢献	1	3	0	0	4
グローバル化	1	2	0	0	3
計	3	31	0	0	34

※ IV…年度計画を上回って実施している。 III…年度計画を順調に実施している。

II…年度計画を十分には実施していない。 I…年度計画を実施していない。

業務運営の改善・効率化に関する目標

1 大学間連携の推進

看護大学・県立大学連携強化

- ・合同FD研修会の開催（8月）
- ・合同研究発表会の開催（8月）
- ・両大学による共同研究（4件）の実施
 - ①椿茶の骨粗鬆症予防に関する研究
 - ②石川県型農福連携（石川ラム）畜産型事業の開発と評価
 - ③複合的アプローチによる農山村地域の持続性評価
 - ④主体的に学ぶ力を育てる授業法の開発

2 学長をリーダーとするガバナンス体制の強化

学長補佐の配置と学長補佐会議の開催

- ・学長補佐会議の設置により、中期計画の現状や教員人事など重要事項に関する審議体制を強化

3 その他業務運営の改善・効率化に関する取組み

経営に関する情報収集及び分析の強化（看護大学）

- ・在学生、卒業生を対象とした新たなアンケート調査の実施
- ・民間業者委託による高校調査の実施

財務内容の改善に関する目標

1 外部資金の獲得

- ・科学研究費補助金新規獲得件数の増加
看護大 前年度比+8件 (H29 : 15件、H28 : 7件)

2 志願者の増加に向けた取り組み

(1) 看護大学

- ・秋季の高校訪問を初めて実施 (石川県 : 13校、富山県 : 10校)
- ・広報冊子「地域包括ケア時代に看護を学ぶなら石川県立看護大学」の作成
- ・高校の進路指導教員との意見交換会の開催

(2) 看護大学・県立大学共通

- ・過年度入試結果及び模擬試験データの分析に基づく広報戦略の策定

自己点検評価及び情報提供に関する目標

1 情報発信の推進

効果的な広報の実施

- ・一般向けの広報活動として、テレビ金沢「ぶんぶんセブン」で大学紹介を放映
- ・志願者向けの広報活動として、看護系情報サイト「ナースナビ」に広報記事を掲載

その他業務運営に関する目標

1 施設設備の整備

施設設備の計画的な更新に関する取り組み

- ・施設設備に関する大学毎の更新計画を策定
- ・教育研究用備品更新費 (20,000千円、運営費交付金) を活用して、老朽備品を更新
- ・情報資産管理システム及び財務会計システムの更新